



いぼりの里だより

月刊—第229号

2026年
3月号

社会福祉法人回精福祉会

- ・いぼりの里（生活介護/就労継続支援B型）
- ・ワークいぼりの里（生活介護/就労継続支援B型）
- ・フレンドいぼりの里（生活介護/就労継続支援B型/
就労移行支援）ワーク、フレンド利用者募集中です

※ホームページは → [Google「いぼりの里」で検索](#)

Instagramは → [ホームページから「iborinosato2」で閲覧](#)

・地域活動支援センターいぼりの里

・日中一時支援事業いぼりの里

・グループホームいぼりの里

・障害者相談事業所いぼりの里

一般相談と計画相談受けたまわります



少しずつ暖かい日が増え、春の訪れを感じる季節になりました。

2月はミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが開催され、日本中が感動に包まれました。世界各国の選手が集い、雪や氷の舞台上で選手たちが金メダルという結果だけでなく何度転んでも立ち上がり支え合うチームワーク、努力を積み重ねる姿勢が私達の日々の利用者支援にも重なるものがあると感じました。

3月1日は、毎年恒例の「国府宮はだかまつり」が行われます。厄除けと無病息災を願い、多くの人が心一つにして参加するこのお祭りは、地域の大切な伝統行事です。「はだか祭りが終わると暖かくなる」と昔から言われ、厳しい寒さの中にも春の訪れを感じる節目の行事となっています。

また3月は一年のまとめの月です。この一年間で、できるようになったこと頑張ったことを一緒に振り返ってみましょう。小さな一歩も大切な成長です。現在、いぼりの里では個別支援計画の面談を3月に「いぼり」、4月に「ワーク」、5月に「フレンド」で実施予定です。面談では、利用者さまのご家庭での様子、計画目標の達成状況、将来を見据えた支援の方向性などについて確認させていただきます。利用者さま・ご家族さま・支援者が同じ方向を向き、チームとして歩んでいくことを大切にしたいと考えています。ご多忙とは存じ上げますが、ご意見やご要望をお聞かせください。障害福祉サービスの質を高める大切なヒントとなります。

最後に、今回の季節性インフルエンザについての情報提供です。11月から12月にA型、1月以降はB型の流行と置き換わってきました。愛知県では2月に入って急速にB型の感染者が伸びており、いぼりの里でも2月の感染者は、利用者さま1名、利用者さまの家族1名、職員0名、職員の家族2名と計4名出ております。B型は熱が上がりず症状が軽い場合もあり、そのため、風邪と勘違いしてしまうことも珍しくありません。普段と体調が違う場合は早めの病院受診をお願いします。

令和8年3月1日 障害者相談事業所（理事） 上條 正木

【1月～2月にいなざわ特別支援学校より産業現場における実習生を受入れました】

○高等部2年1名 1月26日（月）～2月6日（金）10日間

○高等部3年1名 2月4日（水）～2月5日（木）2日間

※2人とも実習を最後までやり抜くことができました。

将来の就労や社会参加を見据えて、事業所内での活動や作業に取り組み、実習を通して自信へとつながるよう支援しました。



【グループホーム家族夕食会と地域連携推進会議の開催について】

日時 3月24日（火）18時

場所 いぼりの里1階食堂

献立 カツカレー 生野菜サラダ フルーツ三色寒天 飲み物

※今回は、「グループホームの家族夕食会」の開催と合わせて、利用者、家族、地域住民の方、有識者、市町村の担当者等による「地域連携推進会議」を合わせて開催します。グループホームの現況報告と今後の運営についてご意見をお伺いし、「ケアの質の向上」につなげたいと考えています。是非参加ください。

